

半田市社協通信

2024年
3月15日号

社会福祉法人 半田市社会福祉協議会 Vol. 33

半田市社協通信では、地域でどんな活動が行われているのか、どんな方が活躍されているのかを地域のみなさまに知っていただくために紹介していきます！
気になる・興味がある内容がありましたら、お気軽にお問合せください！

能登半島地震の被災地支援！ 富山県氷見市へボランティアバスを運行しました

2月17日（土）～18日（日）に、富山県氷見市へボランティアバスを運行し、市内在住・在勤の30名が参加しました。

2班に分かれて、被災した家屋から家財の運び出しや、災害ゴミの運搬を行います。

声を掛け合いながらバケツリレー方式で運び出したり、トラックの運転、家財の仕分けや解体作業など、出来ることや得意なことで役割分担。

どちらの依頼者の方からも、「あっという間に作業が進んだ」「自分ひとりでは出来なかった」と、感謝の言葉をいただきました。

物を一つ片づける時も、その家の人には大切な思い出のつまった物かもしれません。被災された方の心に寄り添うことの大切さを改めて感じることができました。



ボランティアに参加した方の声



半田市在勤の森川武彦さん

初めて被災地に行く経験をして、微力ではありますが、少しでも誰かの役に立てたと実感しました。訪問先の家主の方からの「ありがとうございました」という言葉が、純粋に嬉しかったです。

こういった助けあいで、少しでも被災地の方々が息を抜く瞬間を作ることができると良いと思いました。

今回の記事を担当しました！

「わたくし、こういう者です！」

半田市社会福祉協議会
総務グループ

さかきばら ともやす
榎原 智康



社協では車イスのまま乗車できる福祉車両や、車イスの貸出も行っていきます。
お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

社会福祉法人 半田市社会福祉協議会
TEL 0569-84-2324 FAX 0569-23-7745
Mail handa-syakyo@giga.ocn.ne.jp



被災地支援ボランティアに参加したみなさまの様子

活動オリエンテーション。心構えや活動時の注意点をお伝えします。そして出発前には、全員でラジオ体操をします。



1班 倉庫の片づけ。崩れた土壁を修理するにあたりスペースを確保するため、家財を運び出す依頼。声を掛け合いながらバケツリレー方式で行いました。



2班 自宅兼店舗である古民家を解体するため、家財を災害ごみ置き場へ運搬する依頼。大正11年に建てられた土蔵造りの建物を改装し、家族でコーヒー屋さんを営んでいました。



被災地支援報告会

日時：4月18日(木)午後1時30分～3時30分
場所：瀧上工業雁宿ホール 1階 講堂

半田市社会福祉協議会は、発災後の1月13日から2月25日まで、富山県氷見市の災害ボランティア・支え合いセンターに職員を派遣しました。今回その経験を踏まえて、被災地の様子や職員の活動をお伝えします。災害時の備えや身近なささえあいについて一緒に考えましょう。どなたでも参加できますので是非お越しください。